



## 2 収支の状況

### (1) 収支概要

令和元年度純損失…………… ▲63,591千円 → ▲93,199千円(対前年度差額)  
 (平成30年度純利益…………… 29,608千円)

- ・収益については、入院の診療単価増加により医業収益が増加したため、前年度比で約4%増加となった。
- ・費用については、給与費、材料費の支出増により、前年度比で約5%の増加となった。
- ・収支差については、約6千万円の赤字(前年度比▲0.9億円)となった。

### (2) 前年度比収支状況

(単位:億円)

	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R1/H30	参 考
収益	223.1	228.1	234.2	241.8	252.0	104%	診療単価 (H30) (R1)
営業収益	220.7	226.1	231.1	239.0	249.7	104%	入院(重心以外) 84,794円 → 85,959円
うち入院収益	147.8	148.0	152.8	159.9	165.0	103%	入院(重心) 35,706円 → 35,259円
うち外来収益	54.5	58.3	58.2	59.8	62.7	105%	外来 17,753円 → 18,257円
うち運営費負担金	11.9	12.9	12.3	12.4	14.9	120%	
うち重症心身障がい児施設収益	0.0	0.8	1.3	1.7	1.8	106%	患者数 (H30) (R1)
営業外収益	2.1	2.0	1.8	2.2	2.3	105%	入院(重心以外) 188,069人 → 191,178人
うち運営費負担金	1.4	1.4	1.3	1.2	1.2	100%	入院(重心) 2,966人 → 3,471人
臨時利益	0.3	0.0	1.3	0.6	0.0	-	外来 336,232人 → 343,120人
費用	224.0	230.8	233.1	241.5	252.6	105%	
営業費用	212.3	220.7	222.5	230.2	240.7	105%	一般病床利用率 (H30) (R1)
うち給与費	99.6	102.4	102.7	107.1	111.7	104%	重心以外 87.3% → 88.5%
うち材料費	63.6	65.6	64.9	65.5	70.0	107%	重心 58.0% → 40.7%
うち経費	29.3	28.1	29.9	32.8	33.2	101%	
うち減価償却費	18.0	20.1	20.7	20.4	20.9	102%	
うち重症心身障がい児施設費用	0.5	3.1	2.8	3.0	3.6	120%	
営業外費用	11.3	10.1	10.1	10.0	11.8	118%	
うち支払利息	2.1	2.1	1.9	1.8	1.7	94%	
うち控除対象外消費税	9.2	8.0	8.2	8.2	10.1	123%	
臨時損失	0.3	0.0	0.5	1.3	0.0	-	
収支差	▲0.9	▲2.7	1.0	0.3	▲0.6	-	

※ 各項目において百万円単位を四捨五入しているため、各項目の数値の合計と合計欄の数値が一致しない場合がある。

### (3) 前年度比収支変動の主な要因

#### ア 営業収益

うち入院収益 (5.1億円増) 診療単価の増加によるもの  
 うち外来収益 (2.9億円増) 診療単価の増加によるもの

#### イ 営業費用

うち給与費 (4.6億円増) 職員数の増加によるもの  
 うち材料費 (4.5億円増) 高額薬品使用の増加及び高額材料使用の増加によるもの

#### ウ その他

営業外費用 (1.8億円増) 消費税増税の影響によるもの